

ロータリーに輝きを

FUJIEDA ROTARY CLUB

藤枝ロータリークラブ会報

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
 事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
 URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：池ノ谷 敏正 副会長：森下 敏顯 幹事：鈴木 舜光 副幹事：大長 昭子

第2069回

- ソング 四つのテスト
- ソングリーダー 土屋 秀夫君



【薔薇】

写真提供：櫻井 龍太君

会長報告

森下 敏顯君

皆さんこんにちは。

先日の土曜日と日曜日、2日間にわたり浜松北ロータリークラブのホストにより地区大会が浜松で開催されました。大会の詳しい内容につきましては、後程卓話としてご報告させていただきますが、まずは早朝よりご参加いただきました会員の皆様に、お礼申し上げたいと思います。ありがとうございました。



また、先週の例会は、未来の夢計画、奨学金プログラムの表彰式でした。受賞した生徒さんは、皆それぞれの夢を持ち、未来に向かったいい顔をしていました。

そして、翌日の静岡新聞の朝刊には、表彰式の記事も載せていただき、本活動の広報もなされ、一つの成果となった様に思います。

ところで、法務省人権擁護局のホームページには、「介護老人施設の職員が寝たきりの入居者に対して、叩いたり暴言を発したりしている」とか「老人ホームの施設運営者が入居者に対し不当な身体拘束を行っている」、または「中学生の子が学校の教諭から体罰を受けた」、あるいは「継父から子に対して性的虐待が行われている」といった人権侵害に対し救済手続が開始された事例が紹介されていることはご存じでしょうか。

このような事例の他にも、いろいろな差別、いじめ、セクハラ、パワハラ、インターネット上の名誉毀損など、多くの人権侵害が起きています。

このような問題に対しては、一般的に刑事手続で加害者に処罰を求めたり、民事手続で加害者に損害賠償を求めたりすることが行われてい

ます。しかし、必ずしもこのような方法が万全な救済結果をもたらしているわけではありません。

一方、法務局でも人権救済を行っていることは、あまり知られていないかもしれません。法務局は、登記だけの機関ではないのです。

法務局が行う人権救済手続では、「援助」、たとえば、被害者の避難場所の緊急確保や福祉事務所・児童相談所等の関係機関との連携の模索。そして「調整」、たとえば、加害者と被害者との話し合いの仲介。「説示」、これは、加害者への直接的指導。「要請」、たとえば、プロバイダー業者に対する侵犯情報の削除要求。といった、事案に応じた柔軟な措置が期待できます。

しかし、このような相談は、法務局であれば何処でも受け付けられる、というものでもありません。現在の藤枝出張所には、残念ながらこの相談窓口は有りません。近郊で申し上げますと、静岡本局又は掛川支局へ行かないと相談ができない状態です。

ところで、平成26年11月25日より、法務局焼津出張所が藤枝出張所に統合され、現在の焼津出張所庁舎は閉鎖される事は皆さんご存じでしょうか。そして、さらに来年の1月13日には法務局島田出張所が、同じく藤枝出張所に統合される計画です。

そして、これを機に法務局藤枝出張所は藤枝支局と変わり、それにより、先の人権問題に対する相談窓口が開かれることとなるのです。

法務局は統合され、庁舎が閉鎖される地区の方は、残念ながら多少不便になりますが、統合する藤枝地区は、人権窓口が開設され、さらに地元の法的サービスが充実されることとなります。

とはいえ、この窓口を使用することのないことが何よりですが、人権問題について、気楽に相談できる場所が増えることを、覚えておいていただいても損はないかと思います。

■ 幹事報告

大長 昭子君

- ・公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より
ハイライトよねやま 176 号が届いております。
- ・東日本観光(株)より
2015 年国際ロータリー年次大会(サンパウロ
大会)参加旅行募集案内が届いております。

■ 出席報告

松葉 義之君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
26/41 63.41%	30/41 73.17%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○池ノ谷君 ○河井君 ○杉山君 ○鈴木舜君
○鈴木透君 ○仲田廣君 ○畑君 ○山田君
池谷君 江崎晴君 大杉君 落合君 仲田晃君
村松君 平野君

(2)メイクアップ者

松葉 義之君(焼津) 杉山 静一君(焼津)
畑 昇君(焼津) 池谷 佳典君(焼津)

■ ポリオプラス寄付金

ポリオ撲滅活動へのご協力有難うございます。

本日寄付金額 3, 1 9 6 円

寄付金累計額 6 6, 5 3 0 円

■ 会員卓話

●森下 敏顯君●

去る11月15日、16日の両日、浜松市中区のグランドホテル浜松にて開催された地区大会に参加してきましたので、その報告をさせていただきます。

初日15日は、13時30分より会長・地区委員長会議が開催されました。ここ数年の地区大会初日は、会長並びに幹事の両名が参加する形態を取っておりましたが、本年はクラブからは会長のみの参加、幹事は希望者のみということでしたので、我がクラブは会長の私のみでの参加となりました。

会議は、開会の点鐘、国歌並びに奉仕の理想の斉唱とクラブの通常例会と同様に始まりました。その後、ホストクラブの浜松北ロータリークラブ前嶋純地区大会実行委員長より開会の言葉が

あり、今大会のメインゲストRI 会長代理、森島庸吉様の紹介が行われました。

続いて、岡本一八ガバナーが挨拶。まずは、滞りなくガバナー公式訪問が終了した旨の報告とお礼が述べられました。そして、ご自身の体調に触れ、現在はガンの具合より、誤嚥による肺炎に苦しんでいるとのお話しでした。また、地区大会の準備は入院・治療と重なったため、クラブの仲間任せ、形にこだわらず、楽しい会を目指してほしい旨の意向のみを伝えて今日に至ったことを話されました。

そして、参加されたロータリアンが、楽しかったと思ってくれたならこの地区大会は成功だったと思う、と述べました。

引き続き、挨拶されたRI 会長代理森島庸吉様は、この日浜松へ来る際の新幹線できれいな富士山を見たとのことから、ロータリーを富士登山に例え、「頂上は一つだが、登り方はいろいろある。ロータリーも同様で、そのゆるぎない理念は一つ。しかし、ガバナーによって、その目指し方が異なるだけ。登り方が変わっただけ。」と話されました。

また、岡本ガバナーと同様、ご自身がガバナー現役の際、がんを患った話をされ、そういったことや考え方も含め岡本ガバナーとの共通点が多いと述べられました。やはりご自身の時の地区大会も、手作り大会を目指し、業者に頼らずクラブで企画立案して行ったそうです。その時も、岡本ガバナー同様、参加された方々には何かをクラブに持ち帰って話して欲しいと伝えたそうです。

楽しいこと、楽しい思いが会員の中に広がっていけば、それがロータリーの活力になる。ロータリーを楽しむ事で、その会員からロータリーの楽しさが周囲に伝わっていく。だからこそ、ロータリーは楽しくなくてはいけないし、会員はロータリーを楽しまなくてはならない。そこが、岡本ガバナーの考えと一致するところなのだそうです。

RI 会長代理の挨拶ののち、岡本ガバナーは療養のため退席。この後は晩餐会も含め、志田副ガバナーが代役を務めました。

続いての表彰式では、我がクラブが「ロータリー米山記念奨学会寄付表彰」において、寄付2000万円達成クラブとして表彰を受けました。

この後も順調に会議は進み、予定より1時間半近く早くすべての議事が終了しました。

17時30分からは、場所を移してRI会長代理歓迎晩餐会に出席しました。

津軽三味線の演奏で開幕した晩餐会。遠州の材料を使ったお料理の数々に舌鼓を打たせていただきました。また、その際同席した他クラブの会長様たちと、それぞれのクラブの活動のことで情報交換もさせていただき、大変有意義な晩餐会となりました。

翌16日の本会議は、8時30分にホテルのロビーで当クラブ副幹事を始め9名の委員長、会員と合流しての参加となりました。

聖隷クリストファー大学の先生と生徒によるハンドベルの演奏に続き、9時50分岡本ガバナーの点鐘で本会議は始まりました。

この日、岡本ガバナーはこの点鐘のみ。ガバナー挨拶も壇上にはいりましたが、ビデオで済まされました。

会議は粛々と進みましたが、例年ですと、表彰の終了後記念講演が開催されるどころ、本年は記念講演がなく、本当に会議然としたプログラムが続きました。

ロータリーの要綱によると地区大会の目的は、「地区の全ロータリアンが出席し、意欲を喚起する講演を聴き、クラブと国際ロータリーの重要なことを話し合う」ものとなっています。明らかに今大会はこの地区大会の目的とは異なる内容となっていました。特に今回「みずからが輝く」を主眼に参加者全員が主役となる地区大会を企画したとの説明がありました。

そののち、大会決議も原案どおり可決され、今回の地区大会ホストクラブへの引き継ぎも無事なされ、12時30分過ぎに全てが終了しました。

会議場が懇親会場となることから、閉会から懇親会まで約一時間半の時間がありました。その間はフリータイムと称され、ジャズの演奏や大道芸、ベリーダンスのショーなどが披露され、参加者を飽きさせない企画が用意されていました。

しかし、残念なことに、昼食時間を過ぎ、14時からの懇親会までのつなぎに用意されたという軽食も、参加者の数に比べるとほんの少しの量で早い者勝ち。また、定刻にスタートした懇親会も、半数以上の参加者は立食で、かつ、料理も少なめとちょっと期待はずれでした。もう少し我慢すれば、素晴らしい料理が出てきたのかもしれないですが、スタートはしたものの、乾杯まで

30分以上も立たされての懇親会は辛いもので、早々に引きあげて来てしまいました。

楽しいロータリー、楽しい大会をガバナーが謳っていた割には、私の中では、なんとも後味の悪い地区大会となってしまいました。最後に、休日に浜松まで足を運んでくださった皆様、本当にお疲れさまでした。

●大石 英典君●

国際ロータリー 第2620地区

2014～2015年度 地区大会に参加しての感想

藤枝ロータリークラブに入会して初めての地区大会に参加させていただきましたが、参加会員数1,519名、ご家族、関係団体、事務局員含めて参加者総勢1,599名という地区大会の開催規模に驚き、そして、圧倒されたというのが最初の実感です。

また、本会議での開会点鐘、国家斉唱に続いてのロータリーソングは、私自身初めて遭遇する(聞く)ソングでありましたが、ソングリーダーの方が促す手拍子が満足にできない会場の雰囲気も目の当たりにして、ロータリーソングの多様さ・奥深さも感じました。

さらに、今回の地区大会は、私の地元「浜松」での開催ということで、大懇親会(大交流会PART2)も締め時間まで居させていただきました。岡本ガバナーのご挨拶にありました「最低10名の知人を目標に友達づくりを・・・。」といった目標には届きませんでした。今大会の前嶋実行委員長を始め、面識のある地元ロータリアンの方々との懇親を深めることや、初対面であった清水北ロータリークラブの方とも、「例会の開催状況」、「所属地域の景気情勢」、「お互いの仕事の現況」などの情報交換により面識を持つことができました。

加えて、本会議の閉会点鐘後のフリータイム時間で、藤枝ロータリークラブ参加メンバーの方々と一団となって軽食を追い求めて会場を巡り歩いている時や、この軽食を味わえなかったために立ち寄った会場近傍のデニーズでの昼食時間(クラブリーダー研修セミナーに参加されていた松葉さんには申し訳ございませんが・・・)、その他休憩・待ち時間等において、諸先輩の皆様方から、過去の地区大会ヒストリー談話を含めて大変ありがたいことをご教授いただいたこと

も、ロータリアン1年生の私にとっては大変勉強となり有意義な時間でありました。

この有意義な一日が過ごせたのも、地区大会への参加の命を下さった藤枝ロータリークラブのおかげであり、池ノ谷会長始め同行参加の皆様、送り出していただいた会員の皆様に深く感謝する次第です。



●土屋 秀夫君●

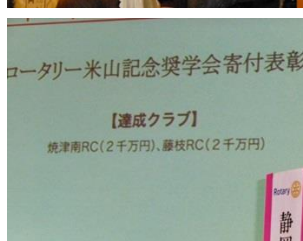
初めて地区大会に参加させていただきましたが会場の中も大混雑でロビーでは身動きが取れないぐらいで参加者の人数に圧倒されました。

議事運営は滞りなく進められましたがフリータイムでは、用意されていた軽食もあっという間に無くなり、大懇親会では立食としつつ、各自椅子を移動している人も多く、立っている人と座っている人が混在で最初から椅子を用意しておいても良かったんじゃないかと思う位ちょっと中途半端な感じがしました。事務局の準備も大変だったんだろうなという感じがしました。

また、今大会の記念品ですが家族には「これからの時期にはちょうどいいねと」

大変好評でした。

以上簡単ですが、感想です。



(担当/大石君)